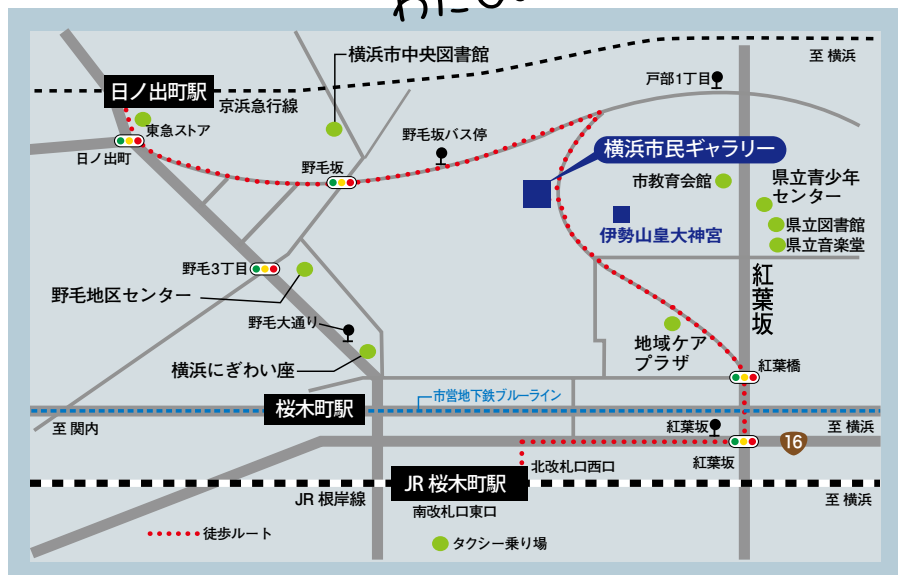


ひろげよう ぼくのつばさ
わたしのつばさ展 2016

社会福祉法人青い鳥 ● 設立50周年記念展



展覧会日時・場所

日時 2016年8月17日(水)～21日(日) (休館日なし)

10:00～18:00(初日10:00 最終日18:00)

場所 横浜市民ギャラリー1階、地下1階

横浜市西区宮崎町26-1 <http://yca9.yaf.jp/org/>

入場無料

What is 青い鳥

青い鳥の始まりは『財団法人神奈川県児童医療福祉財団』です。昭和41年(1966年)、障害児(サリドマイド等)の親の団体「子供たちの未来をひらく父母の会」からの寄付金を基本財産として設立されました。障害児とその家族のための全国初の通園施設「青い鳥愛児園」と、全国初の療育相談機関「小児療育相談センター」を開設しました。また、「財団」より分離独立して昭和58年(1983年)に「社会福祉法人青い鳥」を設立、昭和60年(1985年)、横浜市障害児地域総合通園施設構想の第1号施設「南部地域療育センター」を受託しました(青い鳥愛児園は発展的に吸収)。その後、法人青い鳥は「中部」と「東部」の地域療育センターを運営受託しています。一方、「財団」は「小児療育相談センター」における診療相談事業とともに、検診事業や子育て支援事業などに取り組んできましたが、さらに横須賀市と川崎市から療育センターの運営を託されるようになったことを契機として、平成20年(2008年)、法人格を「社会福祉法人新生会」に変更しました。そして、平成24年(2012年)に現在の「社会福祉法人青い鳥」として新たにスタートしました。平成28年(2016年)9月、設立50周年を迎えます。「道なきところに道を」という新理念のもと、全国初の療育機関である「小児療育相談センター」を中心に、これからも発達障害を含む障害児・者および家族の充実した生活実現に寄与する診療相談や子育て支援に関わる事業など展開していきます。

作品募集



みんなの一枚が大きな夢になるよ!!

- 応募資格** 原則20歳未満
- 募集作品** ジャンル 絵画(テーマ・技法・画材は自由ですが、展示期間中変質、変色するものは展示できません。)
- 大きさ** 四つ切画用紙サイズ(38×54cm)縦横自由。(これより小さいサイズの場合は、四つ切画用紙に貼ってください。また、紙の色は自由ですが、壁に画びょうで止めますので、展示できる厚み・重さにしてください。)
- 作品の数** 200点/1人1点
※グループ作品(5人以上)の場合は、模造紙サイズ(79×110cm)以内でお願いします。縦横自由。個人作品との重複はできません。
- 受付期間** 2016年5月2日(月)～6月30日(木)到着分まで
受付期間中でも、募集点数に達したら締め切ります。(HPで告知)
事前に申し込みも可能です。
- 応募方法** 応募用紙をダウンロードして、必要事項を記入して作品と出品票と一緒に下記宛先まで送付してください。返却希望の方は応募用紙の中の「※返却希望の方へ」を参考に手続きをしてください。
- 作品送付先** 〒221-0822 横浜市神奈川区西神奈川1-9-1
☎045-321-1787 fax045-321-3037
社会福祉法人青い鳥
「ひろげよう ぼくのつばさ わたしのつばさ展 2016」係
- 出品料** 無料
- 展示** 主催者が展示

ボランティア募集



- 展覧会運営、会場案内、ワークショップの補助のために学生ボランティアを募集します。
- 応募資格** 横浜市内在住・在学の中学生・高校生で事前説明会に参加できる人(回数の上限はありません)
- 事前説明会** 2016年8月6日(土) 13:00～14:00
- 説明会会場** 伊勢山皇大神宮記念館2階「開明の間」
- 活動日時** 2016年8月17日(水)～21日(日)
午前の部10:30～14:00 午後の部14:00～17:30
- 募集人数** 50人(各日10人程度×5日)
- 活動場所** 横浜市民ギャラリー
- 応募期間** 2016年6月1日(水)～7月22日(金)
- 応募条件** 16歳未満の方は、保護者・親権者等の承諾をお願いします。承諾書はホームページからダウンロードするか、または同内容を記入の上、持参してください。
- 活動内容** 会場案内、ワークショップの補助
- 謝金** 交通費補助として1活動1,000円(事前説明会の交通費補助は最終活動日に渡します。原則活動を行ってもらうことが前提です。)
参加者には、活動修了証を発行し、スタッフ証、記念バッヂを渡します。
※学校・部・委員会単位での申し込みは、担当の先生が取りまとめてください。また、活動日程について相談の上調整をします。
- 申し込み方法** ホームページの申し込みフォームからお願いします。
- 先生ボランティア募集
学生ボランティアと一緒に活動。応募条件、活動内容など詳細は、事前に調整しますので、直接展覧会担当まで電話かメールでご相談ください。
メールアドレス: tenrankai50@aioitori-net.com
- 謝金** なし

お問い合わせ



<http://www.aioitori-y.jp>

社会福祉法人青い鳥 展覧会担当 045-321-1787

(掲載作品などの無断転載・転用はご遠慮ください)



「ファルビの泉」: 濱口瑛士 作

ひろげよう ぼくのつばさ

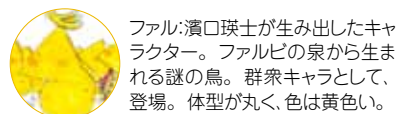
毎日まいにち楽しい展覧会

わたしのつばさ展 2016



記念展シンボルマーク

主催: 社会福祉法人青い鳥
共催: 神奈川新聞社、横浜市民ギャラリー (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
後援: 神奈川県、神奈川県教育委員会、横浜市、横浜市教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、横須賀市、横須賀市教育委員会、横浜市PTA連絡協議会、tvk(テレビ神奈川)、FMヨコハマ
協賛: 川本工業株式会社、株式会社ファンケル、上野トランステック株式会社、タカナシ乳業株式会社、公益財団法人はまぎん産業文化振興財団、藤木企業株式会社、三菱地所株式会社、株式会社横浜銀行、横浜信用金庫
協力: 伊勢山皇大神宮、特定非営利活動法人美術保存修復センター横浜
助成: 日本財団、一般財団法人横浜市安全教育振興会



ファル:濱口瑛士が生み出したキャラクター。ファルビの泉から生まれる謎の鳥。群衆キャラとして、登場。体型が丸く、色は黄色い。

ファルたちのカーニバルが始まる!

大人のための ギャラリートーク

子どものための アートワーク

ギャラリーでお話をきこう!

『見える子どもの心』① ー子どもの心を育てる絵の話

講師 末永蒼生(色彩心理研究家)
日時 2016年8月20日(土) 14:00~15:00
会場 横浜市民ギャラリー 展示室
参加費 無料/当日 先着40人(椅子の数)
立ち見もOK! 集合13:40

「子どもの成長がわかるカルテ」配布!

『見える子どもの心』② ー子どものアートワークで生まれた作品を大人も楽しもう

事前申込制:当日制作した絵から子どもの心の状態や個性をアートカウンセラーがひもときます。ミニ講座です。

講師 チャイルドアートカウンセラー
日時 2016年8月20日(土)
14:00 子どものアートワーク スタート
15:00 大人の絵の読み解きミニ講座

会場 横浜市民ギャラリー 展示室
参加費 無料/子ども(15歳以下)とその親・15組(事前申し込み)

※申し込みは、ホームページの申し込みフォームからお願いします。

ワークショップ

ギャラリーで落書き! カワイイ・クール・キモカワイイ...なんでもOKだよ!

①黒板アート:教室の黒板がギャラリーにやってくる
黒板にカワイイ・カッコいい落書き、その場でアート。
日時 2016年8月17日(水)~19日(金) 11:00~16:00
8月20日(土) 11:00~13:00

会場 横浜市民ギャラリー 展示室
参加費 無料/参加自由(年齢制限なし)



特別授業決定!! <夏休み宿題応援>

ピンホールカメラをつくらう ーなぜ どうして写るの? ー

講師:ものさしLab/日時:2016年8月19日(金) 14:00~16:00
会場:横浜市民ギャラリー 展示室/受講料:無料/10人 事前申し込み/申し込みは、ホームページの申し込みフォームからお願いします。

ギャラリーに動物園をつくらう

②ダンボールアート:不思議な動物園をつくらう
身近な素材のダンボールを使って、造形。

講師 玉田多紀(造形作家)
日時 2016年8月21日(日) 14:00~16:00
会場 横浜市民ギャラリー 展示室
参加費 無料/参加者(小学生以下)30人 集合13:30

ダンボールアート 指導者育成講座(参加者募集) ダンボールアートを保育園、幼稚園、小中学校、子供会などで実施するための指導者用の講座。受講後は、実践。

講師:玉田多紀(造形作家)/日時:2016年8月21日(日) 10:00~13:00/会場:横浜市民ギャラリー 展示室/受講料:無料/15人 事前申し込み/申し込みは、ホームページの申し込みフォームからお願いします。

展示会場に大きな海、空が出現

③海プロジェクト・空プロジェクト:つばさを持つ生き物たち
鳥をテーマにペンギンやカモメなど思いつままに海や空を背景にお話をつくらう。

日時 2016年8月17日(水)~19日(金) 11:00~16:00
会場 横浜市民ギャラリー 展示室
参加費 無料/参加自由(年齢制限なし)

市民講座

これから展覧会を開く人、こんなギャラリーがあったらいいなと思う人、職場でいろいろな理解を深めたいと思う人、ぜひ、ぜひ……。

5回連続講座(1つでも2つでも参加可能):「みんなの美術館」はアートを介したコミュニティづくりの講座

みんなの美術館①・②「アートでつながる」 ー誰でも来られるギャラリーを考えよう

講師 ①ジュリア・カセム(京都繊維工芸大学 特任教授)
②佐藤直子(横浜市民ギャラリーあざみ野 学芸員)
日時 2016年6月4日(土)①13:30~15:00 ②15:30~16:30
会場 横浜市民ギャラリー アトリエ
参加費 無料/参加者50人 事前申し込み

みんなの美術館③「アートをつなげる」 ー誰でも来られるギャラリーをつくらう

日時 2016年8月6日(土) 14:30~17:00
講師 霜田 恵(社会福祉法人青い鳥)
会場 伊勢山皇大神宮記念館2階「開明の間」

みんなの美術館④「アートをつくる」 ーつくってみよう、みんなの美術館!

日時 2016年8月18日(木) 14:00~16:00
講師 霜田 恵(社会福祉法人青い鳥)
会場 横浜市民ギャラリー 展示室

みんなの美術館⑤「つながる・つなげる」 ーできたかな? みんなの美術館!!

日時 2016年10月15日(土) 14:00~16:00
講師 霜田 恵(社会福祉法人青い鳥) ナビゲーター 濱口瑛士
会場 横浜市民ギャラリー アトリエ

参加費③④⑤ 無料/参加者20人 事前申し込み
※申し込みは、ホームページの申し込みフォームからお願いします。



造形講座

画材と遊ぶー絵の具、クレヨン、サインペン、紙、粘土など、いろいろ使ってみます。

画材と遊ぶ(第1回~第3回)

日時 ①2016年6月18日(土) 14:00~16:00
②2016年6月25日(土) 11:00~13:00
③2016年6月25日(土) 14:00~16:00

参加費 無料/15組(保育園・幼稚園の年少~年長に相当する幼児と保護者) 事前申し込み

光り輝く「泥だんご」づくり 自然と遊ぶ(第4回)

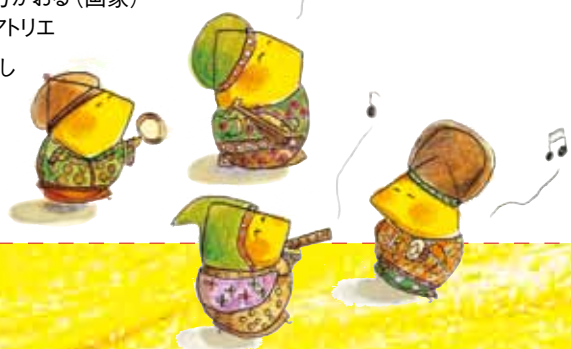
日時 2016年11月19日(土) 13:30~17:00
参加費 無料/15組(保育園・幼稚園の年長に相当する幼児、小学校低学年に相当する児童と保護者) 事前申し込み

世界に一つだけの「カレンダー」数字や文字をデザイン(第5回)

日時 2016年12月3日(土) 13:30~16:30
参加費 無料/15組(保育園・幼稚園の年長に相当する幼児、小学校低学年に相当する児童と保護者) 事前申し込み

講師 堀 篤子(画家)/緒方かおる(画家)
会場 横浜市民ギャラリー アトリエ

※申し込みは、ホームページの申し込みフォームからお願いします。



ジュリア・カセム/Julia Cassim

国立大学法人京都繊維工芸大学KYOTO Design Lab.特任教授。マンチェスター芸術デザイン大学で美術品と美術史について学んだ後、東京藝術大学に留学し、日本政府より彫刻科国費奨学金を受け、ニューカッスル大学国際文化財研究センターより博士号を取得。現在、英国企業をはじめ、国際的に著名な企業に対しても、インクルーシブデザインについてレクチャーし、ワークショップを開催している。



佐藤 直子/サトウ ナオコ

武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科卒業。同学科研究室助手を経て、2006年より横浜美術館勤務。2014年より横浜市民ギャラリーあざみ野にて、おもに企画展と「Fellow Art Gallery (フェローアートギャラリー)」を担当。(公財)横浜市芸術文化振興財団職員。



末永 蒼生/スエナガ タミオ

色彩心理学実践の第一線で、色彩によるメンタルケアをはじめ様々な色彩プロジェクトに取り組んでいる。1960年代より美術活動の傍ら自由表現の場「子どものアトリエ・アートランド」を開設。表現者及び研究者という視点を総合した色彩心理の研究を始める。15年に渡る実践から「末永ハート&カラー・メソッド」を創案し、子どもの心育て、成人のストレスケアなどにいかしている。



玉田 多紀/タマダ タキ

多摩美術大学造形表現学部造形学科卒業。2007年度 トーキョーワンダーウォール公募入選。2010年度YOKOHAMA創造界隈ZAIMコンペ受賞。2010年度世田谷区芸術アワード「飛翔」生活デザイン部門受賞。ダンボールの強度と柔軟性を生かした独自の技法による立体作品。新たな再生の形をテーマに国内外での展覧会、ダンボールアートワークショップを開催。



堀 篤子/ホリ アツコ

武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業後、座間市立東中学校に2年間美術教諭として勤務。1987年から2005年にかけて絵画教室アトリエ・レインボー主宰。その後、現在に至るまで専門学校非常勤講師を勤める。絵画教室では、水彩や色鉛筆を使った工作、工芸を制作指導、展覧会を行う。工夫して楽しむのがモットー。



緒方かおる/オガタ カオル

アートは、コミュニケーションまたコミュニケーションツール。「表現する開放感を誰かと共に!」をモットーに活動。日ごろから制作過程でなければ体験できない大切な一瞬を子どもたちと共有。油彩を中心にインスタレーション作家として公募展、企画展、グループ展で発表。



霜田 恵/シモダ メグミ

2015年4月社会福祉法人青い鳥入職。障害児・者の可能性を芸術・文化活動を通して支援する法人設立50周年記念事業を担当。2003年から10年間、横浜市民ギャラリーで、団体の展覧会、子どもの作品展や造形講座を企画、指導。また、市民活動、教育プログラムを支援。退職後、フリーでキュレーター活動。専門は書道、篆刻。



ものさしLab/ものさしらぼ

ものづくりや広告におけるディレクション及び制作を行う。道具や素材は、今までとは違う使い方をすることで、何か新しいモノを生むかもしれない。メディアの使い方の再考から始まり、その仕組みや特性に着目して実験を繰り返している。人が何を感じ、そしてモノをどう捉えるのか、経験をふまえて「プログラミング」することで、新しい感覚や価値の提示を目指す。



ナビゲーター 濱口 瑛士/ハマグチ エイシ

2002年東京都生まれ。「東京大学異才発掘プロジェクト」ROCKET第1期スカラ候補生。3歳ごろから絵を描き始める。独特の描き方と世界観によって、濱口ワールドを展開。また、多数のキャラクターを生み出す。本展のナビゲーター役を務める。